はぐくみ

2023.6.12

栗原・森戸・漆田
石川さ・尾島・谷田部

みんなで水遊び！

お座りで砂の感触を味わってお砂遊びをする姿が見られるようになってきたことや暖かい日が続いていたこともありベビー棟前で水遊びをしました。小さなおけに少し水を張ると水を手でパシャパシャ。水がはねて顔にかかっても気にすることなく感触を存分に楽しんでいました。また、保育者がペットボトルで作ったシャワーやジョウロで上から水をかけると気になったのか「なんだろう？」と手を伸ばして遊ぶ姿も見られました。砂と水また違った感触なのでその違いを感じ、水に親しみながら遊べたらいいなと思っています。

足でペッタン！楽しいな♪

暖かくなり、裸足で園庭に出ることが増えてきました。手と同じように、足でも感触を感じています。お砂やお水などに足で触れることを楽しんでいたので、今回は足形を取ってみることにしました。
絵の具を出してきた時点で、何かが始まる！と寄ってきてくれたたんぽぽ組さん。先生のお膝の上で足にペタペタ。絵の具をチューブから直乗せし、より絵の具の感触を楽しめるようにしてみましたよ！
みんな、色が付いていく足をじっと見てペッタン！とすると出てきた模様を不思議そうに見たり、もう一回とニコニコ笑ってくれたりと、すっかり絵の具遊びにも慣れ楽しい時間を過ごすことができました。できあがった足形の模様が1人1人違って、とっても素敵ですよ！

絵の具遊びでは絵の具に触れる機会も増えてきたこともあり、足につく様子をじっと見つめたり、にこにこ笑顔も見られたりと楽しみながら行うことができました。父の日が近いということもありその足型をネクタイに見立てて製作にしました。お部屋に飾ってあるので是非ご覧下さい。
水遊びでは保育者が想像していたよりもダイナミックに遊ぶ姿が見られました。また園生活にも慣れ安心して過ごせるようになってきたこともあり笑ったり、驚いたり、泣いたり、怒ったり、「あー」「うー」と喃語でお話したり表情豊かに遊ぶ姿が増えてきました。これからもそのひとりひとりの豊かな表情を見逃さず、一緒に過ごしていきたいです。

すくすく

2023.6.12

澤口・萩野谷・川上・戸室・坂巻

気温が高くなる日が多くなり、天気が良い日には水遊びをするようになりました。水が出るなり、靴を脱ぎ全身で水や泥の感触を楽しむ姿があります。

絵の具気持ちいい～♪

もっとダイナミックに感触遊びを楽しんで欲しいと思い絵の具を用意しました。一番最初に絵の具を見つけたE君が「あぁー！」と嬉しそうに近寄ってきました。青い絵の具が入っているトレーに手を入れて紙にペタッ。手を離すと青い手形がつきました。青くなった手と紙についた手形を交互にじーっと見つめた後、先生の顔を見てニコッと笑ったE君。手が青くなったことを不思議に感じながらも絵の具の面白さを味わったようでした。近くで遊んでいたお友だちも絵の具に気付いてやってきました。手や足に絵の具がつく度に色がついた面を確認する姿に気持ちいいのかな？くすぐったいのかな？色が着くのが面白いのかな？と感じました。ひとりひとりが思いのままに絵の具に触れ合い、夢中になっていました。さらに絵の具遊びの中で色の混ざり合う面白さにも気づいてもらえたらいいなと思います。

たくさん遊んだ証拠に手や足にいっぱい付いた泥や砂や絵の具。「綺麗にしようね」と保育者が洗っていると一緒に洗うまねっこをする子どもたち。保育者と一緒に自分の身体を洗い“綺麗になる心地よさ“も味わっていきたいと思います。

おひさま

2023.6.12

赤羽・恭子・星・木口・神崎

はじめての
折り紙・のり貼り

　折り紙あそびを通して、形の変化や「じぶんでつくりあげた」うれしさを味わってもらいたいという保育者の思いから、折り紙とのりを準備していると.. 「何しているの？」と準備の様子を見たり、「やるっ！」といって机に向かったりと興味津々の子どもたち。始めに、「この紙は、何ていう紙か知ってっる？」と聞くと、「あおー！」と得意気に色を答えていました。すると「ピンクがいい」「これー！」と自分の思いをしっかりと伝え、思い思いの色を選んでいました。今回は、四角の一回折りで“あじさい”を作りました。一回折りでは、「こう？」と保育者に確認しながら折り目を付け、「できた！」といって互いに見せ合って喜んでいました。

　のり付けの場面では、一本の指にちょこっと付ける子もいれば手のひらがべたべたになるほど大量に付ける子とさまざまな姿か見られました。次第にのり貼りにも慣れ、手の動きに合わせて「ぺったん」「ぎゅー」といって貼り付けていました。

　完成するとあじさいを指さし、「いっしょ！」といってうれしそうにしていました。最後にもう一度、紙の名前を聞くと「おりがみー！」と得意げに答えてくれました。それぞれに折り紙を折って形が変わることの楽しさを感じることができました。

　シール貼りの場面では、うまく台紙から剥がすことができず、「できない！」といって困っている声を傍で聞きつけると、どこからともやってっきて「こうやって..」と助け合う姿が見られました。とても微笑ましい一幕でした。

　身の回り形や色に興味を持ち、「まる」「あお」などと図形や色の名前が分かるようになってきた子どもたち。初めての「折り紙あそび」は、じぶんで作り上げた嬉しさはもちろん、助け合う喜びも感じることができたようです。次は、折り紙を折って何に変身させようかな？「乗り物」や「食べ物」の変身も楽しそうだね！

えがお

2023.6.12

真田・福田・野口

生き物と沢山ふれあってみよう！

現在、ゆり組さんのお部屋に保育者が新しく捕まえてきた「アメリカザリガニ」「おたまじゃくし」「ダンゴムシ」「アマガエル」といった生き物が仲間に加わりました！

アメリカザリガニの水換えを子どもたちと行いました！初めて見る大きなハサミを持ったザリガニに「こわい」となかなか触れずにいる子もいましたが、保育者が「ここを触れば大丈夫だよ」と伝えると、恐る恐る触ってみて大丈夫だとわかると安心して触ってみる姿が見られました。
また、ザリガニを興味深々に観察する姿が見られたことから、保育者がザリガニを掴んで腹部をひっくり返して見せると、普段見慣れない足のつき方や尻尾の動きをよりじっくりと観察して驚く表情を浮かべていました。

おたまじゃくしとアマガエルの水換えも行いました！ザリガニとは違って、柔らかく機敏に動く様子を見て「ヌルヌルする」と触った時の感想をつぶやきながら触れあっているところです。

おたまじゃくしに足が生えて、カエルになった際には、「せんせいみて、カエルになったよ！」と変化した喜びを実感する様子も見られました。また、カエルになると食べる餌も変わり、お世話が大変になることを図鑑で調べる姿もありました。最後にはカエルを逃すことに決めた子どもたちは、安全に帰れる場所を探して、手を振りながら「げんきでね！」と声をかけていました。

生き物のお世話や観察を興味津々に取り組む子どもたちがもっと楽しめるように、水の生き物の塗り絵ができるコーナーも設置しました。図鑑に載っているお魚や本物の生き物を見ながら色を塗ってみたり、「こんな色で塗ってみたい！」という思いを持って様々な色を活用して遊びに取り組んでいます。

今週からお部屋に新しく沢山の生き物が増えたことに、目を輝かせながら「せんせいさわりたい！」と積極的に生き物と触れ合う様子が見られました。お庭では保育者と一緒に水換えをしながら、触ってみたり生き物の数を一生懸命数えてみたりする面白さを感じていました。これから生き物を飼育していく上で触れ合い方やお世話の仕方などを丁寧に伝えていきたいです。
また、水の生き物の塗り絵を準備してみたところ、図鑑の生き物の写真や本物の生き物を観察しながら、模様や色合いを色鉛筆やクレヨンで表現していました。今後は色塗りしたお魚などを使用して、魚釣りゲームなどの遊びを行っていきたいと思います。

あおぞら

2023.6.12

野村　田崎

水遊びするぞ！

暑い日が続き、「みずあそびがしたい」「みずぎきたい」と水に触れたい子どもの声が多く聞こえました。園庭のガチャポンプから出る水に触れると「つめたい！」「きもちいい！」と声を上げて、水に触れる楽しさを味わっていました。また、水を溜めて湖を作ったり水路を作ったりとお友だちと協力しながら遊ぶ楽しさも味わっています。

お家の壁は絵の具で塗りたい！

先日まで布紙で壁を作っていましたが、強度が足りないことに気づき、布で壁を作ることにしました。白い布を用意しましたが、白じゃない色がいいねと話している様子。Sくんが「しろじゃないいろにできない？」と話していたので、保育者が絵の具で塗ることを提案すると「えのぐでぬろう！」と張り切って赤い壁を作ることにしました。いつもの紙とは違う塗り心地に大興奮！

乾かしてみると綺麗な色に染まり、「きれいないろにそまった！」「かわいいね！」と嬉しそうな笑顔を見せてくれました。お友だちとどんなお家にしようかイメージを共有しながら、遊ぶ楽しさを味わっています！

なかよし

2023.6.12

山﨑　石川

生き物に触れて・・・

園庭やしおん農園に様々な生き物が遊びに来ています。真剣なまなざしで葉っぱについているてんとう虫を探している子、「何を食べるんだろう？」と生き物の生態に興味を持つ子、捕まえた生き物を小さなお友だちに見せてあげる子がいました。

登園するとすぐにドジョウやザリガニなどがいる生き物コーナーに行き、「元気かな～」と様子を見にいく姿もあります。知っている知識を出し合いながら、わからないことは図鑑で調べるなどして、みんなで大切に育てていく経験を重ねてもらいたいなと思っています。

また、お休みの日におうちの人と捕まえた生き物を園に持ってきてくれました。園では見つけられない生き物に「なんて名前なの？」「どこで捕まえたの？」と興味津々のしおんさんです！

2023年6月1日より、アカミミガメ・アメリカザリガニを野外に放すことが法律で禁止となりました。詳しくは環境省HPをご覧下さい。
生き物を責任を持って育ててもらいたいとの思いから、ザリガニは水草を切ってしまい、他の生き物の住む場所がなくなってしまうなど、生態系に影響があることをお話しました。5月から育てているザリガニは、しおんさんみんなと相談して、卒園するまで大切に育てることを決めました！

玉ねぎとれたよ！

しおん農園に玉ねぎを収穫しに行きました。土を手で掘り起こしていくと「見て！すごい大きい！」「カレーに入れて食べたい！」と嬉しそうな様子。6/27、28にしおんcookingがあり、カレーを作ることを伝えると「やったー！この玉ねぎたくさん使おうね！」「他のお野菜はどうする？」「野菜の苗みたいに、みんなでお買い物に行く？」といろんなアイディアが生まれました。採れたての玉ねぎを見て「玉ねぎ食べたいな～」とつぶやく子や玉ねぎの匂いを嗅いだり触ってみたりしながら「玉ねぎを切ると、目が痛くなるんだよね」と今までの経験を話す姿が見られました。

茄子やじゃがいもがもうすぐ収穫できそうなので、どうやって食べたいか調理方法をみんなで考えていきたいと思います。

ささんか

2023.6.12

さゆり・真田・石川・斉藤

色水遊び発展中

しおん組を中心に楽しんでいる色水遊び！すみれ組やもも組のお友達にも遊び方を教えている姿が更に増えてきました。小さいお友達も自分の色水ができると嬉しくて大切に持ち歩いています。

また、色水の濃さが光の当たり具合によって見え方が違う不思議さを感じたり、「この色の名前は？」と知りたいことが湧いてきたしおん組さん。急遽、色図鑑を用意すると、「〇〇色って言う名前なんだ！」と興味深く照らし合わせて調べていました。たくさんの疑問と向き合っていけたらと思います。

なりきり遊び

雨の日になりきり遊びをしました。。画用紙・お花紙・広告紙・カラーペン・セロテープ等を使い、自分のなりたいものをイメージし保育者と相談しながら一緒に作りました。「忍者になりたい」「魔法かけたい」「うさぎがいい」と、それぞれの思いを言葉にしていた子ども達。手先を使った遊びが得意なお友達は、道具の使い方をお友達に教えたり手伝ったりしながら、作る工程も楽しんでいました。イメージを形にする遊びを楽しみながら続けていきたいと思います。

ベビースクールだより

2023.6.12

古口・岸・瀧口
濱尾・田澤

お兄さんの真似っこがしたい！

「もう終わりにするからお片付けする」と自分からお片付けを始めたすみれ組のお友だち。一生懸命に運んでいるよう様子を側で見ていたもも組のお友だちが「僕もやりたい」と走ってきてお友だちが持っている反対側を持ち一緒に運んでくれました。その後も真似て片付けを一緒に手伝ってくれました。

水風船がボヨンってなった！

手に持っていた水風船が偶然水溜まりの上に落ち、跳ね返ることに気づきました。「あれ、ボヨンってなった！」と嬉しそうに何度も挑戦していると、隣で見ていたもも組のお友だちも真似をして水溜まりに水風船をドボン。「何でだろう？」と不思議そうに見つめていました。

お友だちの真似をして遊ぶのが今1番楽しいもも組のお友だち。同じ場所で同じものを使って「やってみたいな」「おんなじがいいな」の気持ちが芽生えています。真似をして遊んでいるうちに自分で遊び方を見つけたり、道具の使い方を獲得している姿も見られます。

みんなだいすきおふろ

お水遊びの終わりに「なんだか寒くなっちゃった」という子どもたちに「おふろ」を用意してみました。温かいぬるま湯に浸かりながら「気持ちいいな～」と思わず表情もほっこり。すみれ組のお友だちは「お家のお風呂でワニさんにしてるの。みてて」と一緒にワニさんに挑戦していました。